

母子保健計画総括

《達成度 ◎:達成 ○:改善 □:変化なし ▼:悪化》

実施内容・目標	策定時の値 (H27年度)	目標値	H30年度	R3年度	達成度	成果と課題
(1)これから大人になる子どもたちへの取り組み						
①思春期の健康と性						
性に関する教育を実施する中学校、高校	100%	継続	100%	100%	◎	保育所から高校までの現場では、性や命の教育は成長段階に応じて取り組まれている。保育所でもバースデイプロジェクトを開催し、子どもたちなりに命の大切さを学んでいる。
性について相談できる相手がいる中学生	男子 16.0% 女子 80.9%	増加	男子 31.8% 女子 50.0%	男子 25.0% 女子 75.0%	男子 □ 女子 ○	
②思春期の心						
10代の自死数	0人	0(継続)	0人	0人	◎	学校では、実人数でスクールカウンセラーで191人・スクールソーシャルワーカーで13人の利用があり、活動も定着し細かい支援に至っている。関係機関で連携し、心の傷つきに早期に介入しケアをしていく。
③喫煙・飲酒						
喫煙・飲酒に関する教育を実施する小中学校	7/9校	全校(継続)	7/8校	6/8校	▼	<ul style="list-style-type: none"> ・たばこの煙から子どもを守る環境はほぼ整備されている。中学生の喫煙経験は見られていない。 ・飲酒について、半数は間違えて飲んでしまっているが、その他は行事の時や何となくとか親に勧められてということであった。
「空気のきれいな施設や乗り物の登録」数	77	増加	87	113	○	
中学生の喫煙経験	男子 1.4% 女子 0.0%	減少	男子 1.6% 女子 0.0%	男子 0.0% 女子 0.0%	◎	
子どもの前で喫煙する保護者	乳児 0.0% 3歳児 18.5%	減少	乳児 5.1% 3歳児 2.0%	乳児 0.0% 3歳児 0.0%	◎	
中学生の飲酒経験	男子 57.1% 女子 58.9%	減少	(R1年度値) 男子 24.1% 女子 23.0%	男子 5.6% 女子 10.7%	男女ともに○	
(2)安全に妊娠し、出産するための取り組み						
①妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保						
妊婦の出産時の年齢	20歳未満 0.0% 20~25歳 14.3% 26~30歳 26.2% 31~35歳 45.2% 36~40歳 9.5% 41歳以上 4.8%		20歳未満 0.0% 20~25歳 3.2% 26~30歳 38.7% 31~35歳 32.3% 36~40歳 16.1% 41歳以上 9.7%	20歳未満 0.0% 20~25歳 10.0% 26~30歳 50.0% 31~35歳 30.0% 36~40歳 10.0% 41歳以上 0.0%		妊娠届は早期に出されている。ぴよぴよ助産師の介入により、個々にプランを決定しきめ細かい支援が行われ、産前産後サポートの充実により、妊娠出産に関する満足度は高い。 特定妊婦については、安全な出産を目指して支援を続けていく。
妊婦の死亡数	0人	0(継続)	0人	0人	◎	
妊娠11週までの届け出	90.6%	増加	100.0%	100.0%	◎	
②不妊への支援						
一般不妊治療費等助成事業	4件	継続	7件	1件		不妊治療の件数が少なく、不育症の治療費の助成の申請もない状態が続いている。令和4年4月より、不妊治療が保険適応に改正されることも併せて、引き続き啓発する。
不育症治療等助成事業	0件	継続	0件	0件		
特定不妊治療費等助成事業(県)	5件	継続	6件	1件		

母子保健計画総括

《達成度 ◎:達成 ○:改善 □:変化なし ▼:悪化》

実施内容・目標	策定時の値 (H27年度)	目標値	H30年度	R3年度	達成度	成果と課題
(3) 子どもの健康や発達を支援する取り組み						
① 早産児・低出生体重児の減少						
低出生体重児の出生率	3.3%	減少	8.0%	16.0%	▼	低出生体重児の出産の増加がみられる。思春期からの生活習慣の確立(食事・睡眠・運動など)の取り組みが必要。
② 小児の健康管理と医療体制の推進						
乳幼児健診の受診率	4か月児 95.7% 1歳6か月児 77.8% 3歳児 93.1%	増加	4か月児 89.7% 1歳6か月児 95.4% 3歳児 94.2%	4か月児 100% 1歳6か月児 96.8% 3歳児 93.1%	4か月児 ◎ 1歳6か月児 ○ 3歳児 □	町内に小児科がないことに対して不安の声が多い。3歳児や保育所の健診に視機能検査や聴力検査を取り入れ早期発見に努めているが、精密検査を受け医療機関へ確実に繋げることが必要。
予防接種完了率	BCG 100.0% MR I期 70.6% MR II期 100.0%	増加	BCG 88.7% MR I期 116.7% MR II期 97.4%	(R2年度)BCG 85% (R3年度)MR I期 88.9% (R3年度)MR II期 95.3%		
③ 未熟児や医療的ケアを必要とする児への支援						
サポートブック、在宅療養ファイルの提供	サポートブック 35人 在宅療養ファイル 1人	増加	サポートブック 40人 在宅療養ファイル 1人	サポートブック 72人 在宅療養ファイル 0人	○	引き続き対象者へ提供し、必要な支援を受けられるような体制を整える。
④ 発達障がい等、特別な支援を必要とする児の早期発見と支援の推進						
発達クリニック受診、あゆっこ療育通所	-	継続	発クリ受診 14人 あゆっこ 20人	発クリ受診 15人 あゆっこ -	□	幼児期の早い時期に特性のある子への支援開始をめざし、健診等から発達クリニックや療育へつないでいる。保護者も助言を受けて子育てに自信を持ってもらうように支援している。
(4) 楽しく子育てできるための取り組み						
① 子どもの心の発達と育児不安への支援						
「育児に自信が持てない」と答えた母親	4か月児 3.3% 1歳6ヶ月児 2.1% 3歳児 5.1%	減少	4か月児 4.5% 1歳6ヶ月児 9.5% 3歳児 4.0%	4か月児 4.0% 1歳6ヶ月児 6.9% 3歳児 7.4%	□	育児に自信の持てないと感じる保護者は、少数であるが丁寧にフォローを続けていく。気軽に相談できる窓口の紹介や子育て情報の発信も続けていく。
生後4か月での母乳育児の割合	61.4%	増加	93.1%	60.0%	□	保護者の意向によって完全母乳で育てる方とそうでない方に分かれるため、年度によって差がある。母乳育児の利点を伝えつつ、保護者の負担にならない方法で子育てをすることができるような支援が必要。
② 子どもの虐待予防対策と育児環境の整備						
児童虐待の相談件数	29件	減少	26件	34件	□	児童虐待の管理ケースも増加している。関係機関と連携しての支援は充実しており、令和4年度からの拠点施設整備により、より心身ともに健やかな子育てを支援していく。
要保護児童対策協議会管理ケース	22人 6件	減少	26人 11件	34人 16件	□	

母子保健計画総括

《達成度 ◎:達成 ○:改善 □:変化なし ▼:悪化》

実施内容・目標	策定時の値 (H27年度)	目標値	H30年度	R3年度	達成度	成果と課題
(5) 子どもの健康づくりの取り組み						
① 生活習慣病予防対策						
朝食を毎日食べる子ども	5歳児 90.9% 小学生 97.2% 中学生 97.5%	増加	5歳児 88.6% 小学生 89.9% 中学生 83.5%	5歳児 97.4% 小学生 80.1% 中学生 94.3%	5歳児 ○ 小学生 ▼ 中学生 ○	朝食調べでは、毎日食べる小学生が低くなっている。野菜の摂取率も低く、今後も継続しての指導が必要である。
朝食で毎日野菜を食べる子ども	5歳児 17.8% 小学生 32.1% 中学生 30.8%	増加	5歳児 22.9% 小学生 34.4% 中学生 31.5%	5歳児 12.8% 小学生 26.3% 中学生 31.3%	5歳児 ▼ 小学生 ▼ 中学生 □	
朝食で毎日たんぱく質を食べる子ども	5歳児 35.6% 小学生 46.6% 中学生 51.3%	増加	5歳児 51.4% 小学生 48.2% 中学生 52.0%	5歳児 48.7% 小学生 55.6% 中学生 62.5%	5歳児 ▼ 小学生 ○ 中学生 ○	
早寝早起きする子ども(3歳児)	7時までに起きる 92.6% 9時までに寝る 44.4%	増加	7時までに起きる 91.1% 9時までに寝る 35.2%	7時までに起きる 92.6% 9時までに寝る 44.6%	○	朝すっきり目覚めないなど、生活リズムが整っていない子どもが多いことが課題であり、メディア対策と連動して取り組みをしていく。
朝、すっきり目覚めない子ども	-	減少	保育園児 27.1% 小学生 53.7% 中学生 58.3% 高校生 52.6%	保育園児 30.1% 小学生 35.8% 中学生 51.6% 高校生 55.3%	□	
メディア2時間までの子ども	-	増加	保育園児 44.6% 小学生 55.9% 中学生 26.8% 高校生 8.2%	保育園児 55.8% 小学生 15.2% 中学生 4.7% 高校生 4.3%	▼	
② 歯科保健対策						
むし歯の保有率	1歳6か月児 0.0% 3歳児 7.4% 保育園児 23.5% 小学生 8.1% 中学生 26.8%	減少	1歳6か月児 0.0% 3歳児 10.2% 保育園児 21.6% 小学生 12.6% 中学生 29.0%	1歳6か月児 0.0% 3歳児 7.4% 保育園児 20.0% 小学生 11.1% 中学生 21.5%	○	・むし歯保有率は減少し、ほとんどの子どもが健康な歯と歯茎を保っている。歯磨きの仕方を教えてくれるDVDなどの媒体も活用し、楽しく取り組める工夫もされている。 ・むし歯の治療状況については、家庭等の環境によって受診につながりにくい子がいる。また年によって処置率のばらつきがみられる。引き続きむし歯の予防について周知するとともに、むし歯になったら治療することについて伝えていくことが必要。
1人平均むし歯数	1歳6か月児 0.0本 3歳児 0.19本 保育園児 0.84本 小学生 0.10本 中学生 0.61本	減少	1歳6か月児 0.0本 3歳児 0.20本 保育園児 0.84本 小学生 0.20本 中学生 0.68本	1歳6か月児 0.0本 3歳児 0.15本 保育園児 0.63本 小学生 0.22本 中学生 0.34本	○	
むし歯の処置率	保育園児 44.1% 小学生 57.1% 中学生 78.6%	増加	保育園児 25.8% 小学生 48.8% 中学生 64.0%	保育園児 30.7% 小学生 62.8% 中学生 88.6%	○	
むし歯の処置完了者率	小学生 54.5% 中学生 59.5%	増加	小学生 48.1% 中学生 36.8%	小学生 54.5% 中学生 82.1%	○	
歯肉炎の有病率	小学生 11.1% 中学生 16.7%	減少	小学生 4.1% 中学生 13.7%	小学生 5.4% 中学生 7.69%	□	
歯磨き習慣のある児	1歳6か月児 78.6% 3歳児 100.0%	増加	1歳6か月児 100.0% 3歳児 100.0%	1歳6か月児 96.6% 3歳児 100.0%	□	